

# 第7回ホスピ川柳 1次選考通過作品

株式会社 名優

| 作品                   | 雅号       |
|----------------------|----------|
| 毎日が 非日常だと 忘れない       | あーる      |
| 消えゆく灯また灯す日を信じつつ      | 蒼音       |
| ありがとう三回言って逝きました      | 蒼音       |
| 「ありがとう」なんて父さん らしくない  | あおちゃん    |
| 動けない あなたのもとに 走りゆく    | 青トウガラシ   |
| あの鳥が 私とともに 空を往く      | 蒼豆       |
| 夢の中 じいじが蝉を 捕まえた      | 赤めがね     |
| トイレ立つ父の両手のあたたかさ      | あきら      |
| 昏睡の 父が微笑み 渡る川        | ake      |
| 忘却のさきにいつものその笑顔       | あさ       |
| 来年も孫でいたいと泣いた夏        | 浅井誠章     |
| ごめんなさい 看護師として 謝ります   | あさこ      |
| 介護する その人もまた 介護され     | あさのん     |
| また来るよ 外は晴天 母は雨       | 明日があるじゃん |
| 病気して 弱い自分が もう一人      | 明日勝      |
| 温もりが 父の最期の 置き土産      | あっきー     |
| 「大丈夫」 父に最期の 嘘をつく     | アップダウン   |
| 言えねんだ 昭和男は 有難う       | しん       |
| 生かされて まだ逝かないで 逝かないで  | 天音       |
| 時計より 命を見てる この現場      | あゆみ575   |
| 握る手に 落ちた涙が 光ってる      | アルサプア    |
| 優しい嘘 ついて御免と 言わせてよ    | あるふぉんそ   |
| 天国で 会えるその日が いつか来る    | あんどらごら   |
| 息を継ぐ 合図を待って 夜が明ける    | 医川       |
| 介護するわれより食べるわが母よ      | 石井 香久    |
| 帰りたい 出来る事なら 帰したい     | いたすいたすけ  |
| 目をつむる 母にはじめて 『ありがとう』 | いっちー     |
| 陰になり日向になりの介護です       | いつはるひか   |
| 死にたいと沈む夕日を引き上げる      | 伊藤聖子     |

| 作品                     | 雅号        |
|------------------------|-----------|
| ありがとう その一言で 夜が明ける      | いぬのか      |
| ありがとう聞こえなくても言わせてね      | 居間正三      |
| 「ありがとう」 そのひと言が 薬です     | 伊予の風      |
| やっとでた 便と一緒に 涙する        | 岩音        |
| お見舞いに 「さよなら」 だけは 言わないで | いわG       |
| おはようと 今朝も言えたと 泣き笑い     | vuvu      |
| 世話かけて すまないなんて オレ息子     | うっしちゃん    |
| 失って 初めて気づく 当たり前        | うなぎ大好き丸   |
| わかってよ こちらも同じ 人だから      | うなちゃんまん   |
| 名前だけ 覚えてくれて 泣きました      | 梅村颯       |
| どんどんと 変わるあなたを おぼえてる    | ウリ        |
| 平凡に 過ごせた今日に ありがとう      | えいこん      |
| 通帳はあそこと言って眠る母          | 詠楽堂       |
| 沈まない 太陽でいて お母さん        | 江戸川散歩     |
| 泣きたくて泣いてる母の背をさする       | えぺ        |
| どなたさん？ それでも親は あなたです    | えみりい      |
| ではまたな ここはあなたの 家なのに     | Emily     |
| 六度目の 最期の桜 来年も          | MD        |
| 指先で最後に書いたありがとう         | エメラルド     |
| ありがとう 最後の笑顔 忘れない       | エメラルドグリーン |
| 壊れても 壊れかけても 母は母        | エリカ       |
| 振りむけば 今を忘れる お母さん       | エリリン      |
| 父看取る 一緒に泣いて くれたひと      | エりんこ      |
| 何度でも 初めて出会う 母となる       | 黄金肘       |
| 声なき手 にぎるあたたか 生きている     | 大林ひかる     |
| 点滴の しずくに託す 生きる意志       | おかまさこ     |
| うすれゆく 母と唄って 児に還る       | 男鹿ワタル     |
| 祖父に似た 声に赤らむ 祖母の顔       | 翁シン       |
| まだ逝くなもっとさせてよ恩返し        | 置楽        |
| 話せない母に指切り 離さない         | 奥の寄道      |
| 母さんの おかえりなさい 聞けぬまま     | おくら       |
| いつまでもデカイ背中のお父さん        | 036       |
| ばあちゃんの笑顔はいつも日本晴        | 小島芙美子     |

| 作品                     | 雅号        |
|------------------------|-----------|
| ひと休み その瞬間に 急患だ         | オタ少女      |
| 側にいる それが私の 出来る事        | お茶        |
| ありがとう 言えぬまでも 伝わって      | おっとりねこ    |
| 母の背の 荷物を下ろし 父が逝く       | 踊 ヘプバーン   |
| 来世でも あなたは僕の 母さんだ       | オドントグロッサム |
| 大嫌い でも生きていて お父さん       | かあしゃん     |
| 今日の母今日の私で介護する          | ガイア       |
| また聞いた いいえ私に また効いた      | 怪傑もぐり33世  |
| 思い出も 消失するの? 認知症        | 傀儡師       |
| 病室で 母が子になり 子が母に        | カエデ・チャーチャ |
| そばにいる ただそばにいる 最後まで     | かえるL      |
| 「頑張れ」より 「頑張ったね」と 言われたい | かおり45%    |
| 暗闇や夜の廊下で母を待つ           | 柿本佐留      |
| 名前より 笑顔覚えて くれていた       | 花京院       |
| 杖つく手 昔つないだ あなたの手       | かくかくしかじか  |
| あまりにも 準備がよくて また泣ける     | 家具屋のねずみ   |
| にっこりした 今日の笑顔は 何? 母さん   | かぐや姫      |
| ひと筋の なみだ無言の ありがとう      | カジ        |
| 病室の空気を变える空の色           | かじなみと     |
| 母逝くな どうかいさせて 子のままで     | Kazu      |
| 不老まで望まないから不死でいて        | カズマゲドン☆   |
| 今日もまた癒した人に癒される         | 風         |
| いつからか 娘の私 お母さん         | 風灯        |
| ほら母さんあそこに蛍父さんだ         | 風まかせ      |
| ありがとう 言葉なくても ありがとう     | かたこり      |
| 会う度に 私を忘れ 思い出す         | カトさ       |
| 忘れない 強い親父の あの姿         | カトラス      |
| 辛苦背に 最終章を 閉じし母         | かばくんのかば   |
| いかないで もう少しだけ ここにいて     | ガブリータ     |
| 昨日より ゆっくり歩く その勇気       | かほこ       |
| のべた手を払った人が泣く夕べ         | 神丘 風      |
| いるならば神よ私を身代わりに         | かめきち      |
| 誰だっけ そんな言葉が 突き刺さる      | かめんさん     |

| 作品                     | 雅号        |
|------------------------|-----------|
| 介護する 母に言われた 頑張るのよ      | 加代ちゃん     |
| 子を産んで育てて枯れて逝った母        | カラスの行水    |
| この背中押してくれたよその背中        | かりゆし      |
| 手を焼いた 娘を今は 困らせて        | カワサン      |
| 要介護 向こう三軒 両隣           | 蛙屋 柳斎     |
| 嫌ですよ 夫唱婦随で 要介護         | 蛙屋 柳女     |
| 渡し賃 やらんぞ爺よ まだ逝くな       | kawase    |
| 母に似た人が次々入所する           | 河内坊       |
| 車椅子 握る手の皺 じっと見る        | 川の流れるように  |
| 最後まで母の手だけは離さない         | 川端 日出夫    |
| あと何度桜一緒に見られるか          | 川村栄       |
| 月が日が覗く病舎の白衾            | 菅恵里子      |
| ナースコール 呼ばれていくと 「さみしくて」 | かんかんかん    |
| やり切って 泣いた日今は 過ぎし日に     | 完熟きのこ     |
| 瓶の蓋開けることしかできぬ俺         | 菅高栄       |
| 名も知らぬ あなたの声に 救われた      | きーちゃん     |
| この歩み 止めてなるかと 薬飲む       | キイロイトリ    |
| 最期まで お世話になった 感謝です      | 木子        |
| 時間くれ最後に感謝伝えたい          | 北美三風      |
| いつまでも 甘えたかった 最後まで      | きなこ       |
| 「もういい」と どうか貴方は 言わないで   | きなこのこ     |
| 手の荒れも 勲章だねと 笑い合う       | 気分は上々     |
| しっかりと 人生の幕 見届けます       | キューと      |
| 「どちらさま」ひとり息子は絶句した      | キヨ        |
| 先みえぬ トンネルに入る 介護かな      | ぎょうまん     |
| 易怒性が 母の介護で 溶けていく       | 霧の小町      |
| 一步ずつ 頑張れじゃない 頑張ろう      | 金太郎のじいちゃん |
| 覚悟して 親の手取った はずなのに      | ぐーさん      |
| もう一度声を聴かせてここにきて        | くうたろす     |
| ここでなら 話せるボクの 悩み事       | くがかん      |
| 静けさの 中で命を 織りかえる        | 愚月        |
| 父追って 無上の母も また無常        | 草津亭       |
| 100万回 言っても足りぬ ありがとう    | 草取り名人     |

| 作品                      | 雅号      |
|-------------------------|---------|
| ありがとうまだ言わないで傍に居て        | 桐       |
| 旅立ちが 終わりにじゃないよ 「じゃあまたね」 | 熊猫太夫    |
| 大丈夫 忘れられても 忘れません        | くまのこ    |
| 便りない それが元気で 言い聞かす       | ぐりむろ    |
| 天国は 逃げないだから まだ逝くな       | けい      |
| 居てるだけ 次会う時も 生きていて       | けいちろう   |
| 何思ふ 春風に問う 最期の日          | ゲジなん    |
| 夢で会う それが最後に なるなんて       | 削鯉      |
| 母乗せて押す車椅子わが支え           | 月華      |
| もう居ない 母はまだいる 俺の中        | 元気マーちゃん |
| 握る手に 温もり残し 旅に出た・・・      | kensona |
| 独りには させない母が 一人逝く        | けんちゃん   |
| 引き出しに 仕舞い忘れた 俺の過去       | コアラ     |
| 諦めが 悪い親父が 俺は好き          | こいちゃん   |
| 消えそうな 吐息で紡ぐ ありがとう       | こうちゃんママ |
| 補聴器の 替えの電池を 残し逝く        | ここあ     |
| 諦めが悪い私はまだ生きる            | 五香水貴    |
| 学んだよ 命は急に なくなると         | 心笑      |
| 涙より 先に手を振る 夕しぐれ         | ココママ    |
| 握る手が 明日を生きると 物語る        | コスモス    |
| 無理せずに無理をしろよと療法士         | 木立慈雨    |
| すまんなと 詫びたことなき 父ぽつり      | ごっちゃん   |
| 父の背に逝きたくないを書いて冬         | 琴乃夕月    |
| デイケアの リハビリに泣く 母に泣く      | coni    |
| 支えるはず支えられてるこの現場         | コバリク    |
| さよならも はじめまして 忘れない       | こぼ      |
| 「ありがとう」こちらこそだよ「ありがとう」   | こまき     |
| 負けないで 特効薬は 君自身          | こめ      |
| なぜ言えぬ感謝のことば何故言えぬ        | ごめんね    |
| 駆け抜けた 母のたすきは 受け取った      | 昆布      |
| ありがとう だけは忘れず 逝った父       | さいま     |
| 治療して 花見ができる ありがたさ       | 佐伯      |
| 来年の桜はどこで見られるか           | 佐恵子     |

| 作品                    | 雅号        |
|-----------------------|-----------|
| 目を閉じた 母の頬には 子の涙       | 沙緒翁       |
| 時が経ち 大事な人が 消えていく      | 酒井一華      |
| まだ生きたい 思い出の地に また行きたい  | さかきんぐ     |
| 忘れない あの日あの時 あの景色      | さくら       |
| 大変よ でもねこの手は 離さない      | さくら       |
| じっと見る 子になる母と にらめっこ    | サクラモチ     |
| 「死ぬもんか」 嘘が嫌いな 母の嘘     | さごじょう     |
| 大丈夫 父のそばには 僕がいる       | 佐々木       |
| ありがとうと声に出そうと決めました     | 笹谷豊子      |
| 帰り用 持ち込んだ靴 履かぬまま      | サチ        |
| いつまでも 子のままだった 母の前     | さっち       |
| 見守りも 立派なケアと 知る夜勤      | さと村       |
| ありがとう 笑う陽だまり 泣きそうに    | 佐野美波      |
| お姫様 抱っこする父 軽過ぎる       | 三郎        |
| 「もうお帰り」明日の仕事を気遣って     | さんごしょう    |
| 俺のせい 摩った脛の 細さかな       | じいじ       |
| 初孫と 母が歩くよ 歩行器で        | じいじ八年生    |
| 送られる日までは送る日を背負う       | 塩の司厨長     |
| 思い出は あなたの笑顔 あたたかい     | シオン       |
| 母は言うゆっくり終わる幸せと        | しかくいキャラメル |
| 夜勤明け 布団で気付く 言い忘れ      | しきのみこ     |
| 最期だけ 約束破り 逝った父        | しなやかーる    |
| ありがとう 心からでる そのことば     | しばっち      |
| 「まだ死なねえ」 笑って言うな 泣くだろが | 渋谷丸       |
| いいんです 涙こらえて 側にいて      | 島風        |
| 記憶にはあなたひとりが咲き誇る       | 島風ひゅーが    |
| 死ぬ予定 なかったでしょう お義母さん   | 島根のぼん太    |
| 亡き妻と 今また旅の 道連れに       | 島村冬樹      |
| 歩けたね 昨日の涙 今日花         | ジャック      |
| 大丈夫!! 笑顔のウラで 泣き叫ぶ     | ジャンボママ    |
| 正解が わからぬままに 父看取る      | 手芸人       |
| 中段に手をのべ母の担送車          | 十猪        |
| 母乗せて 押す車イス 父の杖        | 純生        |

| 作品                      | 雅号     |
|-------------------------|--------|
| 忘れても 毎日言うよ 大好きと         | 笑      |
| 「ありがとう」よりも聞きたい「バカヤロー！」  | 章香堂    |
| もう充分 母は何度も 繰り返し         | 盛水     |
| もう一度 生まれて来ても あなたの子      | 祥雪     |
| 幸せな 思い出だけの 今の母          | しょうた   |
| 認知症 揺れる記憶に そっと触れ        | しょうび   |
| 我が胸に 母は生きてる 咲いている       | 食眠     |
| 静寂の 病室に鳴る 鳩時計           | 白犬     |
| 老いた手に 老いた手重ね 「ありがとう」    | シロー    |
| 生かされず生きていく意志受け止める       | しろくま   |
| 眠ってる 病床の母 泣き笑う          | 白髭     |
| 忘れ物 あなたは取りに 行っただけ       | しん     |
| ありがとうは交差する程あたたかい        | 進一郎    |
| 武骨さの 消えた骨張る 背に涙         | 新月うさぎ  |
| 会いたかった 最後になった あの電話      | シン・ゴジラ |
| 逝かないで あなたの代わり いないから     | 新屋洋子   |
| 我が倅な父よ 無言にならないで         | 翠夏     |
| まご忘れ 子を忘れても 母は母         | 末っ子    |
| 年重ね 歩いた道を 忘れてく          | 洲鎌優美   |
| その姿 いつか誰かの 夢となる         | スズ     |
| さよならと 手を振る父に またねでしょ     | すずめ    |
| 本当に 生きててくれて ありがとう       | STAR   |
| 親孝行 まだ途中だよ 逝かせない        | スマレ    |
| 見て雪が 点滴の腕 窓を指す          | すみれ    |
| 生きるんだ 生きるんだって 目が叫ぶ      | セイ     |
| この介護 わが行く先の 先達者         | 井蛙     |
| 「スマナイ」と 言われ「ゴメン」が 言えなくて | 誠晏     |
| 白衣の背 ひと息深く 力込め          | 関太郎山   |
| 感謝しかない病床に手を合わす          | せきぼー   |
| ありがとう その一言で 背が伸びる       | ぜろ     |
| ありがとう 噛み締めながら 次の部屋      | 仙骨隆々   |
| 一匙ずつ阿吽の呼吸父と母            | 千里同風   |
| 躊躇わず言えばよかった大好きと         | 續々     |

| 作品                   | 雅号       |
|----------------------|----------|
| 逝く妻へ 悲しみ超えた ありがとう    | そんちく     |
| この絆切れない記憶途切れても       | たあに      |
| 車いす 小さくなった 親父の背      | 橙色の満月    |
| 無事暮れた 感謝でそっと 見る寝顔    | 太陽とそよ風   |
| 直葬でいいよと云って母は笑む       | 沢庵       |
| その話聞くよ二度でも三度でも       | 拓ちゃん     |
| 忘れないわたしが生きている限り      | 竹とんぼ     |
| 一瞬で 元気になれる ありがとう     | たこすけ     |
| おめでとう！ ばかりではない 退院日   | たつくり     |
| 「忘れてもいいよ」の笑顔忘れない     | 立田溪      |
| ありがとう 言えぬ人にも 尽くしきる   | たなか      |
| そばにいる 産まれるときも 逝くときも  | 田中時風     |
| あなただけ人間扱いしてくれた       | 田乃無骨     |
| まだ生きたい 孫の笑顔に そう願う    | たび       |
| 寝たきりの子より長生き誓う日々      | たまさもち    |
| ありがとうと 言われることに ありがとう | 魂        |
| 囲まれて父の最期の握手会         | たまのいわし   |
| お母さんお願いだから頑張って       | たむぞう     |
| 白衣脱ぎ 涙ぬぐって 帰る道       | たろう      |
| 私には 見せぬ笑顔の 母がいる      | 団くるみ     |
| 俺のこと わからなくても ありがとう   | ダンディムラムラ |
| 喜寿米寿 天寿来るまで あなたの子    | 蒲公英      |
| 「おはよう」の父母（ちちはは）の声思う朝 | ちうう      |
| 名を忘れ 子まで忘れた 母がいる     | ちかちゃん    |
| 「ありがとう」 今日は何度も 言えました | チセ       |
| 寝る祖父のシロツメクサも摘めぬ指     | 千船早帆     |
| 違う名を 呼ぶ父のそば 寄り添って    | ちゃこび     |
| 最期まで父は昭和の人でした        | ちゃったマンゴー |
| 看取ること 寂しい辛い 代わりたい    | ちゃりんど    |
| 話したいまだ伝えたいこれからを      | 忠一       |
| いつからか 介護日誌が 恋文に      | ちゅんすけ    |
| その傷が あなたの道を 伝えてる     | ツキ       |
| 亡骸を 抜け殻と言う おばあちゃん    | 都冬夢      |

| 作品                    | 雅号      |
|-----------------------|---------|
| 生きている それすら悔やむ 身の不自由   | つばめ     |
| 私の名呼べぬ母呼ぶ何度でも         | つべる     |
| 痛いのは どこより財布 身にしみる     | ツルボン    |
| 命とは 問い続けてる この場所で      | テオジル    |
| 孫あやし 遊んだ母が あやされて      | デシ      |
| 車椅子 初めて乗った 父の顔        | でじゃぶー   |
| 「何事も 急ぐな」言うて 何故急ぐ     | てちにゃん   |
| あらどなた 子だと言えずに 手を握る    | デッサン    |
| 鍵かかる 病棟残し 母ごめん        | デニム     |
| 母の手をさする不孝を詫びながら       | 手まり     |
| 血圧と 悩みをそっと 測る朝        | てんちゃん   |
| 握った手握り返してありがとう        | 土居耿     |
| 贖罪を 済ませて兄は 旅立った       | 都井の風    |
| 窓の外見る横顔に父がいる          | 糖質無制限   |
| 介護される 身にもあるぞよ 介護疲れ    | 豆風      |
| その時が きてもあなたが いてくれる    | 桃李      |
| この施設 いいねと母は 涙して       | 棟六      |
| 聴こえずとも何度でも呼ぶ「おじいちゃん、」 | とかげのしっぽ |
| 忘れても いいよ私が 忘れない       | 朱鷺      |
| 見送って 結ぶ最後の 親孝行        | 道産子     |
| 言わないで「幸せだった」まだはやい     | とし      |
| 車椅子 乗って花見を 来年も        | となみ     |
| また明日 言ってくれるか 君の笑み     | とも      |
| 過去は過去 いいのそれでも する介護    | ともきっず   |
| また明日 言える幸せ 帰り道        | ともさん    |
| 泣くな俺母の自慢の息子だろう        | とも蔵     |
| 廊下へと 洩れる嗚咽の 午前二時      | とよ爺     |
| 孝行は不安な顔を見せぬこと         | どらまにあ   |
| 血管よ 逃げずにじっと そこにいて     | ナインナース  |
| 父のいた ベッドの角度 戻せずに      | なおきん    |
| 命とは 問いかけながら 手を握る      | なかむら    |
| 夜勤明け 疲れた顔に 咲く笑顔       | なかる     |
| 静かなる ガンコ親父の オムツ替え     | 鳴き砂     |

| 作品                    | 雅号       |
|-----------------------|----------|
| 祖母座椅子道行く人をただ見てた       | なし       |
| ごめんねと言わせてばかりでごめん      | 夏島有      |
| ありがとう 届かぬままに また一日     | 夏蜜柑      |
| 買えません健康という財産を         | 奈菜子      |
| 母の声母の手母を思い出す          | 七瀬 棕     |
| また来てね 帰りたいとは 言わぬ父     | ななな      |
| 素っ気ない『ありがとう』でも『ありがたい』 | なみや      |
| ありがとう その一言が 明日の糧      | なゆた      |
| 生きる意味 あなたの笑顔 守りたい     | なるち      |
| 薫風にあなたの気配感じ取る         | 南平太      |
| ひっきりなし 昼夜を問わず 鳴る電話    | 和心       |
| 大部屋の 夜半の遠慮の 咳ひとつ      | 西大路湖山人   |
| 諦めじゃ ないぞ！覚悟だ！ いざ病！    | ぬえ       |
| 会いにゆく 孫に娘になりながら       | 温水ふみ     |
| 忘れない 現場に感謝 あの世でも      | 猫ザウルス    |
| 生きつくしなお生きつくし眠る母       | ねこ77     |
| 臨終に零れ落ちてくありがとう        | ねこまき     |
| 点滴を引きずりながら花見道         | 猫柳       |
| 手と手と手 独りじゃないよ 僕もいる    | のぐろっけん   |
| 来ていない娘が来たとはしゃぐ父       | ノソノソ     |
| 「いたい」より 「会いたい」と父 子に伝え | のりのり     |
| 何をすれば 覆水盆に返るのか        | はかま      |
| 泣きながら 笑顔つくった 夜勤明け     | 白衣の戦士    |
| 夜勤明け シャワーで気付く 伝えなきゃ   | はしゃぐ年子の心 |
| 父さんの駄洒落も一度聞きたいな       | ばせり      |
| 骨細る 母の髪梳く 春の風         | ハチ       |
| 笑ってて欲しくて私笑ってる         | 初貝みな     |
| 痛くても 父は笑顔を 絶やさない      | はっちおーじ   |
| 背を撫でる背負ってくれた人の背を      | 花一匁      |
| 親指に 残る温もり 母の脈         | はなはな     |
| 肺の壁痛さ伝わる息の音           | 羽馬愚朗     |
| 力なく 握る手の荒れ 母の生        | ばばりん     |
| 病床の父案じつつ葱は伸び          | 浜ぶどう     |

| 作品                  | 雅号      |
|---------------------|---------|
| 立ち上がる勇気のそばにいつもいる    | 羽茂祐子    |
| なあオヤジもう頑張らなくていいんだよ  | 隼人      |
| 冥途行く待合室は混んでいた       | 原田和夫    |
| 生きたいと 願う心が 生命線      | 遙       |
| さよならは 言わない今日も また明日  | はるちゃん   |
| 先生の その一言で 救われる      | はるはる    |
| 他愛ない会話心が泣いている       | はるひさ    |
| もういいよ ゆっくりしてよ 休んでよ  | はるま     |
| 笑みながら 母は置いてく 涙の子    | はるやす    |
| その時が 今だと知って ただ縋る    | ハルル     |
| 共倒れディサービスに救われる      | 万愚節     |
| 笑ってる 泣くな泣くなと 父の声    | ばんぶー    |
| はじめからやさしい声の人でした     | ばんぶりん   |
| ああ泣けない 泣けなかったと 嘆きたい | 畢       |
| 丸くなる父の姿に襟正す         | ピーコック   |
| 縛られど なおも探して あの頃を    | ぴいな     |
| しゃべれない あなたの気持ち 届いてる | 氷川葱味噌   |
| 吸飲みや役目を終えて息をつく      | 翡翠      |
| 分かってる 覚悟もしてる けど逝くな  | びっぐべいびー |
| 欲っされて ほっとした顔 ほっとする  | 日付日和    |
| 毎日が 母と私の 最初の日       | ひでじい    |
| 母の背を さすって戻る 幼き日     | ひでぼん    |
| 言うてきや！ 愚痴も辛さも 楽しさも  | 日々平和    |
| 夏祭り花火見つめるガラス越し      | 一二三文    |
| 世話をする 私に母が 世話を焼く    | 風信子     |
| 思い出を いっぱい備蓄 放さない    | ビリケン真   |
| 車椅子の母が見上げる初桜        | ヒロ      |
| 最期まで痛いと言わぬ父でした      | ひろP     |
| 「まだ大丈夫」 強がる父の 手が震え  | 枇杷      |
| 緊急は想定外の顔認証          | びわしゅ    |
| 辛くても 泣かない母の 嬉し泣き    | ファンタ爺   |
| 何度でも あなたがくれた 名を教え   | ぶー      |
| 死んでも死なん！と約束したじゃない   | プーちゃん   |

| 作品                      | 雅号        |
|-------------------------|-----------|
| あまのじゃく 逝っていいよと 言っていない   | 深澤 健聖     |
| メモの裏 そっと書かれた 「ありがとう」    | 不屈の屈葬     |
| 「元気だよ」 消灯前の電話口          | ふくろう悠々    |
| 番号で呼ばれて我と気がつかず          | ふけ老人      |
| 神に乞う！ 逝かすな母を まだ早い       | ふじちゃん     |
| 母背負い 肩に雫の わすれもの         | 不詳の息子     |
| 泣かないと 決めて隠れて 涙する        | ブラックココ    |
| ボクの為怒鳴って泣いてくれた父         | ふわふわ      |
| 手を握り 時よ止まれと 念じた日        | 文案堂       |
| ありがとう 守ってくれた 大きな手       | 分水のさくら    |
| 逝く日まで 頑固な父を 演じ切る        | 蛇のとぐろ     |
| 「死んだんか？」 目覚める父に 「生きてるよ」 | べるちゃん     |
| 生きざまがその逝きざまが道しるべ        | 歌井ぼうかる    |
| 同室の患者同士の同志感             | ホープマン     |
| 手は貸した 立てるか母よ 足を出せ       | 北房あさゑ     |
| 天国で親父が叫ぶまだ来るな           | ポコあペコ     |
| どの神も 人を殺せと 説いてない        | 星新        |
| 足腰の分まで口は良く動く            | ぽっくん      |
| 車いす母と思い出乗せて押す           | ほのぼの      |
| 母を看取り家を見取りて父冥す          | ぼわろ       |
| 名も顔も 忘れられても 父は父         | まーきん      |
| ありがとう拙い文字に涙する           | 真壁真治      |
| 苦しみを隠す優しさ君らしさ           | まさみ       |
| この人の命預かる介護人             | マジかよてっちゃん |
| 逝かないで 唯一無二の お母さん        | 松庵        |
| 一番の 特効薬は その笑顔           | 松依花奈      |
| もう泣くな俺の余命も半分こ           | マッサン      |
| 抱かれた母を抱えて車椅子            | まっさん      |
| 孫と呼ぶ その子は君の 子供です        | マッシー      |
| 看護され 看護しようと 決意する        | 松田少納言     |
| この皺がぼくを育ててきた証           | 松村波光      |
| サヨウナラそしてあなたへアリガトウ       | まつもともとこ   |
| 謝るな 心配するな 気にするな         | 真夏日       |

| 作品                   | 雅号       |
|----------------------|----------|
| 母が逝き 逝かぬと言った 父逝った    | 招き猫ひーちゃん |
| 満開に母を誘って車椅子          | 豆の蔓      |
| 真夜中に 帰宅願望 私もです       | 迷い猫      |
| 子が見えぬ母の瞳に子は映る        | 茉莉亜まり    |
| 告知された あなたの明日を 手伝おう   | 麻呂       |
| 年令を <もう>と<まだ>とで 使い分け | 万年幹事     |
| ありがとう 何度言っても まだ足りぬ   | みかん      |
| 母さんを 宜しく頼む 逝くな父      | みかん      |
| 聞けたなら 父の小言を もう一度     | 美柑       |
| あんただれ 今日始まる 自己紹介     | みこちゃん    |
| 俺は父 父は俺なの おばあちゃん     | ミサキラブ    |
| 先生に 話す練習 昨夜から        | みずいろてがみ  |
| できぬこと カルテに書けず 抱きしめる  | Mr.X     |
| 待ちわびた 退院の日に 友の顔      | 三清       |
| 命継ぐ たった1錠 託された       | 三編       |
| まだ呼ぶなやりたい事が山と有る      | みっちゃん    |
| 「ありがとう」それは私のセリフでしょ   | ミナト      |
| 忘れない 私の母は あなただけ      | みなまる     |
| 見届ける 生き切る母の ラストラン    | ミニトマト    |
| 母が逝く私に笑い皺遺し          | ミファ      |
| 握る手に 脈と願いの 鼓動聞く      | みやこ      |
| そばにいる それがわたしの できること  | 宮のふみ     |
| 失声の 私の想い さあ届け        | みやび      |
| 忘れてもそばにいるから生きていて     | 深雪       |
| 嗚咽から 溢れ出てくる ありがとう    | みゆきち     |
| 記念日を 避けて優しい 母が逝く     | みらいむ     |
| この時を集う命が生きている        | みれまま     |
| できないが できるに変わる 喜びよ    | みわ       |
| 恩返し 私は何が できるのか       | みん       |
| ドアが開く そこに貴方が いて欲しい   | みんとと     |
| 不安でも なんとかなると 信じてる    | みんな      |
| 寄り添ってただ寄り添って側にいる     | ムギ       |
| またあした そんなあしたが くればいい  | 無色       |

| 作品                    | 雅号     |
|-----------------------|--------|
| 「ありがとう」は わたしがママに 言う言葉 | ムレチコ   |
| 父よ待て どうか着くまで 逝かないで    | 盟主クサイ  |
| 病室に 差し込む光 生きる意味       | めーぶる   |
| てふてふに乗れたか母よ「また明日」     | めめんと森  |
| 言わないで 遺影になんて まだ早い     | めろん茶   |
| 抱きしめる 母の着替えに ある温み     | 木星     |
| 生き地獄 生きてほしいと 願う夜      | もち代ママ  |
| 亡き父の 最後の言葉 母頼む        | もっちゃん  |
| 腰曲がり首曲がってもへそ曲げず       | 物見遊山   |
| ひたすらに 生きた親父の 太い文字     | 桃太郎    |
| 四季巡り死期迫り来る日々を抱く       | 桃乃茶    |
| ありがとう もっと言わせて ありがとう   | モモンガ   |
| 言い聞かす 慣れに慣れるな 我が看護    | もゆあ    |
| おんぶした 母は軽くて あたたかい     | もりのひと  |
| 母ちゃんよ ライスカレーを もう一度    | モンテカルロ |
| 祈るのみ 生きる灯火 明ける夜       | やーくん   |
| 母がしてくれた通りに母を抱く        | 八木 五十八 |
| 謝辞を云う 母の最期に 見た涙       | 安田蝸牛   |
| トイレまで今日もふたりの旅をする      | 箭田儀一   |
| 何度でも 父の子として 生まれたい     | やっち    |
| お母さん 窓の桜が 呼んでるよ！      | 八十日目   |
| 誰がやるもう動いてる手と手と手       | やぶさめ。  |
| また来るね 祖父と交わした もうこぬ日   | やましょう  |
| 点滴の リズム重ねる 母の息        | やまととろ  |
| ありがとう なんて言うなよ まだ早い    | やまとも   |
| 父と母 初めて見せた 涙顔         | やまとゆう  |
| 幾度でも 笑顔で聞くよ その話       | やまびこ   |
| 一匙に こもる優しさ かみしめる      | やまびと   |
| 親父さあ 笑い過ぎだよ 遺影写真      | 山法師    |
| 「ありがとう」いや、こちらこそありがとう  | ゆう     |
| 三途の川行くな渡るな舞い戻れ        | ゆう     |
| 助からぬ 悟って尚も 尽くす人       | 由羽     |
| 忘れない母の最期の深呼吸          | 夕風     |

| 作品                  | 雅号    |
|---------------------|-------|
| あと一匙食べて食べてと目が痒む     | 郵呆    |
| 笑ってよ 独りじゃないよ 俺が居る   | ゆうゆう  |
| おはようと 明日また言える それだけで | ゆーらら  |
| 帰ります いったい何処へ ここは家   | ゆかり   |
| 小さな手、生まれてくれて、ありがとう  | 雪男    |
| 忘れない あなたがここに 生きたこと  | ゆまち   |
| 握手した次の朝にはもういない      | 夢糸    |
| 寄り添って くれる優しさ 特効薬    | ユメ吉   |
| 笑い合う友又一人先に行き        | 夢希望   |
| 星になど ならなくていい 逝かないで  | 夢子    |
| 「あんた誰？」と言われるけれど母は母  | 夢恋士   |
| ありがとう当たり前ではない介護     | 夢まくら  |
| 忘れても 何度も言うよ 私の名     | ゆゆか   |
| ひとしづく こぼす弱さも 抱きしめる  | ゆゆゆ   |
| できたこと 数え治して 春を待つ    | ゆりたろ  |
| 人体を 創りしものよ 図面くれ     | ようよう  |
| 無くせない 記憶を糧に 今生きる    | 柳留人   |
| もう少し 喧嘩したいよ 時止まれ    | 横ちゃん  |
| 天寿まで生きたと言えるがん連れて    | 吉田 天  |
| あったかい 子の手に引かれ 散歩道   | 淀太郎   |
| 耳遠い母に心を近づける         | よもぎ春子 |
| 「帰りたい」 その言葉胸 締め付ける  | ラーテル  |
| 息の音深夜病棟朝を待つ         | ラッパさん |
| 見送る父もう会えないと分かってた？   | ラン    |
| 髪は抜け されども君は 変わらない   | 立心琴葉  |
| 時は金 いいえ命だ 離れない      | 龍神    |
| 笑うこと それはみんなを 救うこと   | りらこ   |
| まだいえぬ みとめたくない さようなら | リン    |
| 話したい 離したくない 君のこと    | リン    |
| 始まりも 終わりの頬の ひとしづく   | りんす   |
| 父に詫び母にも詫びる父の通夜      | ルーキー  |
| 後悔の ない介護など ないこの世    | ルーク   |
| そばにいる事しかできぬされどいる    | 瑠珂    |

| 作品                         | 雅号    |
|----------------------------|-------|
| 人生(たび)の最期 看させてくれて ありがとう    | ルカママ  |
| 手を引かれ 通った道を 手を引いて          | るるねこ  |
| 母であり同志であって母だった             | ルルル   |
| 引いた手が 母の苦勞を 語りだす           | 老人生   |
| 百歳の 母がほほえむ 春の夢             | ろくすけ  |
| 生と死の 狭間戦う 戦士たち             | わいわい  |
| 病床で 母の靴音 父が待つ              | 和香    |
| 日記帳 かすれた文字の 「ありがとう」        | わらび   |
| 「もう」と「まだ」 くりかえすだけ「もう」と「まだ」 | わんこなり |

以上、500句。